

富山県朝日町

議会だより



第109号
令和3年5月1日



舟川の春の四重奏

3月議会定例会

■令和3年度予算、令和2年度補正予算など	2～3
■代表質問 3名	4～8
■一般質問 6名	9～14
■常任委員長報告・議会活動報告	15
■議会日誌 1月～3月	16

《発行編集》

富山県朝日町議会だより編集委員会

〒939-0793

富山県下新川郡朝日町道下1133番地

☎0765-83-1100(代)

3月定例会

令和3年度予算、令和2年度補正予算、条例一部改正・廃止、人事案件など26議案を可決・承認・同意・答申

令和3年3月朝日町議会定例会は、3月2日から16日までの15日間にわたり開催され、令和3年度予算や令和2年度補正予算、条例一部改正・廃止、人事案件など26件が提案され、原案のとおり可決・承認・同意・答申しました。

令和3年度予算

1万円未満切捨て

一般会計	総額	72億6,341万円
特別会計	総額	24億6,398万円
国民健康保険特別会計		12億2,701万円
後期高齢者医療事業特別会計		4億6,304万円
簡易水道特別会計		5,154万円
下水道特別会計		7億2,135万円
奨学資金特別会計		102万円
病院事業会計	総額	39億3,268万円

令和2年度補正予算の主なもの

1万円未満切捨て

一般会計 (補正第15号)	補正総額	8億4,663万円
地域情報推進事業 ・新川地域介護保険・ケーブルテレビ事業 組合分担金 (光回線整備にかかる工事費)		1億8,416万円
担い手農家育成・安定対策事業 ・経営体育成支援事業補助金 ・農業施設等雪害復旧支援事業補助金		2,445万円 3,327万円
財政調整基金積立金		2億円
減債基金積立金		2億円
未来創生推進基金積立金		1億2,000万円
企業立地促進基金積立金		7,500万円
特別会計		
国民健康保険会計		125万円

令和2年度専決補正予算の主なもの

1万円未満切捨て

一般会計 (補正第12号)	補正総額	6,700万円
消雪装置維持管理費		850万円
除雪対策費		5,650万円
一般会計 (補正第13号)	補正総額	6,000万円
企画費 (ふるさと納税代行業務委託料等)		2,000万円
らくち～の管理運営費		1,434万円
商工業振興事業 (アゼリア指定管理料)		460万円
児童館・保育所手洗器自動水栓化等		535万円
小・中学校教育振興費 (教育用サーバー更新等)		732万円
図書館運営費 (感染症対策用品)		221万円
一般会計 (補正第14号)	補正総額	9,365万円
新型コロナウイルスワクチン接種事業費		9,365万円
特別会計	補正総額	4,847万円
病院事業会計 (新型コロナウイルス感染症に係るもの) ・感染防止対策医療器械等整備費 ・感染症診察室設置工事請負費		2,100万円 2,244万円

議会を傍聴してみませんか！

定例会は3月、6月、9月、12月に開催されます。日程については、議会事務局に問い合わせください。議会日程のほか、議会のインターネット中継・録画配信も下記URLの町ホームページからご覧いただけます。
<https://www.town.asahi.toyama.jp/gyousei/index.html> (トップページ⇒朝日町議会⇒各ページタイトル)

議会で決まったこと

※議決日は3月16日

3月定例会審議結果

議案番号など	件名	審議結果
議案第1号	令和3年度朝日町一般会計予算	原案可決
議案第2号	令和3年度朝日町国民健康保険特別会計予算	原案可決
議案第3号	令和3年度朝日町後期高齢者医療事業特別会計予算	原案可決
議案第4号	令和3年度朝日町簡易水道特別会計予算	原案可決
議案第5号	令和3年度朝日町下水道特別会計予算	原案可決
議案第6号	令和3年度朝日町公共用地先行取得等事業特別会計予算	原案可決
議案第7号	令和3年度朝日町奨学資金特別会計予算	原案可決
議案第8号	令和3年度朝日町病院事業会計予算	原案可決
議案第9号	朝日町行政組織条例一部改正の件	原案可決
議案第10号	朝日町の職員の特殊勤務手当に関する条例及び朝日町国民健康保険条例一部改正の件	原案可決
議案第11号	朝日町地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律施行に伴う固定資産税の課税免除に関する条例一部改正の件	原案可決
議案第12号	朝日町重度心身障害者等の医療費助成に関する条例一部改正の件	原案可決
議案第13号	朝日町基幹集落センター設置条例廃止の件	原案可決
議案第14号	公の施設の指定管理者の指定の件	原案可決
議案第15号	令和2年度朝日町病院事業会計資本金の額の減少の件	原案可決
議案第16号	令和2年度朝日町一般会計補正予算(第15号)	原案可決
議案第17号	令和2年度朝日町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第18号	令和2年度朝日町下水道特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第19号	地方自治法第179条による専決処分の件 専決第1号 令和2年度朝日町一般会計補正予算(第12号)	承認
議案第20号	地方自治法第179条による専決処分の件 専決第2号 令和2年度朝日町一般会計補正予算(第13号)	承認
議案第21号	地方自治法第179条による専決処分の件 専決第3号 令和2年度朝日町病院事業会計補正予算(第3号)	承認
議案第22号	地方自治法第179条による専決処分の件 専決第4号 令和2年度朝日町一般会計補正予算(第14号)	承認
議案第23号	朝日町教育長を任命するため同意を求める件 【木村博明氏(沼保1173番地11 63歳)の任命に同意】	同意
諮問第1号	人権擁護委員候補者を推薦するため意見を求める件 【新田 均氏(泊824番地2 64歳)の推薦について原案適当として答申】	答申 (原案適当)
議員提出議案第1号	朝日町議会会議規則一部改正の件	原案可決
議員提出議案第2号	朝日町議会委員会条例一部改正の件	原案可決

本会議の採決における賛否一覧 ◆賛否が分かれたもののみ掲載しています。

案 件	氏 名									
	大久保光太	寺西 泉	石原孝之	道用昭雄	清水真人	荒尾勇二	大井光男	加藤好進	西岡良則	水野仁士
議案第1号 令和3年度朝日町一般会計予算	○	○	○	○	○	×	○	○		○

結果賛否 ○…賛成 ×…反対 △…退席 ー…欠席 ※議長は採決に加わりません。

令和3年度予算

主な新規事業

- 小学校給食費全額補助 (無償化)
- 中学校学習者用デジタル教科書導入
- 朝日町型部活動コミュニケーションクラブ
- 境A遺跡等出土品の移譲
- 不動堂遺跡周辺施設整備構想事業(なないろKAN、生涯学習館の一部改修)
- 保健・介護一体的事業
- 認知症高齢者等見守りシール交付事業
- スマート農業研修事業
- あさひDEお試し就農事業
- 日本の森・滝・渚全国協議会総会
- 空家等対策計画策定
- 町営住宅改修実施設計業務
- 防災ハンドブック更新
- 橋梁定期点検
- 特定空家等除却代執行事業
- 庁内プリンタ再配備事業

町経済の再生のためにどのような策を検討しているか



清水 眞人（一步会）

答 商品券事業の再実施のほか、飲食・観光業に限らない施策を検討している

質問

令和3年度予算は、新型コロナウイルス感染症パンデミックと国内における未終息、大寒波襲来により発生した、36年ぶりの大雪による混乱と豪雪被害、東日本大震災被災地における新たな強い地震の発生、大規模な森林火災の発生など、国全体として萎縮・疲弊した経済環境の中、町として財政健全化を優先した、平時の予算編成となっているのではないかと。先の見通せない難局を、町民とともに行政も一丸となって乗り越えていくことの強いメッセージがないのではないかと。

また、コロナ禍を克服したとき、町民が買い物難民とならないような最善の施策が必要と考えるが、疲弊した町経済の再生策について、具体的にどのような策を検討

しているのか。

答弁 町長

新年度予算は、新型コロナウイルス感染症の影響により町税などの減収が見込まれる厳しい財政環境の中でも、町民サービスの質を低下させず、新たな日常に向けた一歩を着実に進めていくものである。

全体的に予算を減額する中でも、コロナ禍においても地域医療の提供体制を維持するための病院への繰出金、コロナ禍における子育て世帯への支援のための小学校給食費無償化、魚価の大幅下落により漁業経営が厳しい中での漁業者支援、就農者に対するスマート農業研修などデジタル化により農業経営の質の向上を図る支援、認知症高齢者等見守りシール交付事業などの要援護高齢者の安全・安

心やその家族の負担軽減を図る事業などを主な新規・重点事業とし、特に子育て世帯への支援や教育環境の充実などには予算を増額するなど、将来への投資を含めめりはりをつけた予算とした。

令和3年度予算案に対してコロナ対策経費が不十分との指摘だが、これまで令和2年度の国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金4億7850万8千円をいただき、67の事業施策を計画し、コロナ対策支援に努めているところであり、今後は、令和2年度分の執行残に加え、令和3年度に実施可能な臨時交付金の追加分1億4千万円強、令和3年度当初予算と組み合わせ、切れ目のない予算、切れ目のない政策を実行し、国・県との協調を図りながら全力を挙げて取り組む所存である。

答弁 商工観光課長

令和2年度に実施し好評であった、あさひ商品券プレミアムセットなど、各種商品券事業の再実施を計画しているほか、飲食・観光業に限らず業種を拡大した形での施策を検討している。

再質問

改めてプレミアム商品券の検討もしているということだが、実施時期はいつ頃が適当と

検討しているか。

再答弁 財務課長

町としては、世論の状況あるいは県内、国内のコロナの感染状況を見て消費喚起策を打ち出すタイミングを計っており、執行残などを活用しながら、ゴールデンウィーク前ぐらいには打ち出せる世論の状況や感染状況であってほしいと考えている。

町出身の若者たちの帰郷・定着を図るべきではないか

答 町出身の方以外にも移住・定住していただく施策を講じたい

質問

子育て支援策は、他市町村に誇りうる充実度であるが、町出身の若者の町外流出が下げ止まらない。日本全体として人口減少が進む中、どこも同じような移住定住施策が取られている。町として、Uターンにインセンティブを与える政策に重点を置き、若者たちの帰郷・定着を図るべきと思うが、当局の見解を伺う。

答弁 企画振興課長

町は、子育てや医療、福祉、介護への支援、働く場の確保、インフラ整備など、町民の皆さんが暮らしやすいと思うまちづくりを進めること、移住される方にとっても重要であることから、子育て支援、地

代表質問

域医療を担うあさひ総合病院の医師・看護師の確保や病棟再編、企業誘致や新たな公共交通、ふるさと教育の推進などに取り組んでいる。町としては、Uターンと、朝日町出身の方だけにこだわらず、Iターン・Jターンと、それ以外の方々にも朝日町に来て、移住・定住していただくための施策や取り組みを講じてまいりたい。

意見 ふるさと教育などいいが、今現在も若い人たちが町外へ出て行っている。これを止める、町出身者のみを対象とした、看護学生修学資金貸与制度のような直接的な施策を検討していただきたい。

除雪の助け合いを推進する 助成制度の創設を求めるが

答 地区住民の互助を後押しする体制について前向きに取り組んでいきたい

質問 町の高齢者向け除雪助成制度について、平成30年3月議会において、今の制度は適用条件として大まかに65歳以上・一人暮らし・住民税非課税・使用上限額3万8千円・年2回まで、登録事業者のみ発注可能となっており、現状とは合致しておらず、改正すべきであると議論したが、改正されずに今日に至ってしまった。現

状の制度では、玄関前や生活道路の除雪を必要とする一人暮らしの高齢者や、高齢者のみ世帯の日常生活を支えることができない。除雪に対するコミュニケーションの支え合い、助け合いを推進する助成制度の創設を強く求めるが、当局の見解はいかがか。

答 健康課長 今後、一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の増加が予想されるが、大雪の際には地域での助け合いが重要だと考えている。今後に備え地区による除雪に対しても助成できないか検討していきたくと考えている。

再質問 課題はいくつもあるものの、このような支援については町長の理念とも合致していると思うが、町長はどのように考えているか。

答 町長 この件については、ボランティアの方々には何かあった場合の保険など、整理しなければならぬ部分があると課長と討議をしたところである。地区の皆様方のボランティア的な要素の自助、互助の精神は非常に大事であるため、このような活動に対してしっかりと後押しできる体制について、前向きに取り組んでまいりたい。

新年度予算の財源確保のためのスクラップ部分は何か

答 一部事業の廃止・縮小、経費削減、歳入の確保、修繕計画の変更など



寺西 泉 (青雲)

質問 行政サービスの充実を図るビルドの裏には、事業の見直し等のスクラップが必ずセットで存在しながら、財政の健全化を確保していくべきものと考えているが、予算ではこのスクラップ部分が見えてこない。予算編成における町長の熱い思いや、財源確保のため行った既存事業の廃止、縮小及び歳入の確保等の主なものについて伺う。

答 町長 新型コロナウイルス感染症の感染拡大が経済に大きな影響を及ぼし、人々の生活様式にも変化をもたらしていることなどを踏まえれば、令和3年度からの行財政運営も、こうした潮流に順応した対応・取組みを行っていかねばならない。

令和3年度予算編成の基本方針

は、目まぐるしく変化する国等の動向や社会環境の変化を的確に捉え、既存事業の必要性や費用対効果などを十分検証し、職員間で共に知恵を出し合い情報を共有しながら、ゼロベースの視点で施策、事業を厳しく精査することとした。予算の編成に当たっては、第5次朝日町総合計画の後期基本計画の初年度をスムーズにスタートすることができるよう、創意工夫を凝らしながら町の問題解決に対応した予算となるよう努めたところであり、積み上げた結果が令和3年度の当初予算に表れたものと考えている。

議員からは、かねてから、限られた財源を効果的に使う手法として、行政サービスの充実を図るビルドのためには、事業の見直しや

統廃合などで財源を確保するスクラップが必ずセットであるとするビルド・アンド・スクラップについてご指摘をいただいているところであり、その重要性、必要性を十分認識し、予算の組立てを行ったところである。

令和2年度大型事業であるデジタル防災行政無線設備整備事業、太陽光発電設備等導入事業などの完了により、令和3年度予算は、大幅な減となったが、スクラップ部分については見えづらいついことであるので、幾つか説明させていただきます。

① 廃止・縮小としたものとして、高齢者向け健康教室については、3密を避けるため縮小したほか、多種多様で分かりづらかった形態を一部統廃合することでスリム化を図っている。また、費用対効果を検証したことにより、高齢者運転免許証自主返納支援事業における運転経歴証明書取得手数料支援の廃止、あいのトキめき婚姻・出生祝福事業の祝い品の一部廃止・見直しを行っている。地域おこし協力隊について、令和3年度は農業研修生を優先して採用することとし、従来のような複数分野の採用を一旦見合わせ、農業部門に集中した人材の確保に力を注

いでいく。その他、対象人数の減少に鑑み、おうちで子育て応援事業や児童手当給付費についても事業費の縮小を図っている。

② 実施方法を変更したものとして、職員の出張や研修において、出向いで出席していた従来の形からウェブ等で参加できるものに積極的に切り替えた。このことで、旅費や燃料費等の経費削減に加え、勤務時間の効率的な使い方にもつながり、ひいては職員の働き方改革の一助になるものと考えている。

③ 経費を抑制するためのものとして、役場庁内プリンタ再配備事業を行う。年々増加傾向にある印刷費、消耗品等経費の解決策、また職員の希薄なコスト意識の打開策として、ランニングコストの低い機種に刷新、プリンタの配置箇所的大幅な見直しを行うとともに、印刷コスト削減に向けた周知徹底を図るため運用方法を再検討するなど、年間にかかる経費の大幅な抑制を図っていく。太陽光発電設備等導入に伴う電気料の削減と併せ、効果的な経費削減が図られるものと期待しているところである。

④ 歳入の確保として、好調なふさと納税について、ポータルサ

イトを追加したことや返礼品の品数を増やした。このことにより、さらなる増額を見込んでいる。

その他、緊急度を勘案し施設の大規模修繕計画を変更することで予算の平準化を図ったほか、実績が見えない、財源が確保されていない、あるいは事業内容が不明瞭であるといった不確定要素が強い事業経費については予算化を見合わせするなど、令和3年度当初予算は真に必要なものだけ積み上げた、めりはりのある手堅い予算編成となったものと自負している。

今後も財政規律を遵守しながら、持続可能なまちづくりの実現に向け、引き続き健全な行財政運営に努めるとともに、町民の皆様

に正しい情報発信、より分かりやすい財政の見える化を研究・検討してまいりたいと考えている。



再質問 今後、人口減少が進み、税収が伸び悩む中、どこの自治体においても急激な高齢化で医療・介護費等が増加し、財政面で大きな課題に直面してくる

のではないかと考える。5年後、10年後の朝日町の姿を考えた場合、常日頃から財政の見える化について、町民の皆様により分かりやすく説明する責任が町にはあると考えるがいかがか。

再答 財務課長 今後、令和3年度予算についての広報紙面では、特定財源の記載はもちろんのこと、スクラップ部分を何とかピルド部分と併せて、分かりやすく掲載するように紙面の工夫をする予定である。

また、財政を分かりやすく伝えるため、夏場途中で、何かキャラクターを使いながらQ&Aを行うような財政の広報的な紙面を設けていきたいと考えている。

令和3年度当初予算における主な新規・重点事業 廃止・見直し事業を紹介します。

廃止・見直し事業

- 職員研修等
 - 職員の出張や研修をオンライン研修に切り替えることによる旅費等の経費の削減
- 庁舎プリンタ等再配備
 - 役場庁舎内のプリンタ、コピー機をランニングコストの低い機種に更新し、配置を見直すことによる業務の効率化及び経費の削減
- 太陽光発電設備導入等
 - 役場庁舎、サンリーナの太陽光発電設備導入及びLED照明への更新による年間電気料の削減

予算のスクラップ部分が紹介された広報あさひ4月号（一部抜粋）

代表質問

舟川桜並木周辺活性化事業の経済効果は

答 来訪者の市街地商店への誘導を
商工会とも計画を立てながら進
めている段階である



加藤好進 (グループ22)

質問 コロナ禍の中ではあるが、景観を楽しみに来訪される人々を妨げることはできないため、交通渋滞を引き起こさないよう、土日は舟川の桜並木周辺の駐車場を閉鎖しつつ、新型コロナウイルス感染症対策に努めた上で、土日に車で来訪される皆さんに利用いただくシャトルバスの運行が計画されているが、その運行ダイヤと経費及びお土産品等の出店ブースについて伺う。

答 商工観光課長 春の四重奏会場への無料シャトルバスによる往復直行便については、土曜・日曜に臨時駐車場となるあさひ総合病院やサンリーナからは、7台のバスで午前7時半から午後4時までの間、10分間隔で運行する。また、泊駅からは、3台のバス

で、午前9時から午後4時までの間、平日は15分間隔、土曜・日曜は10分間隔で運行する。乗車時の検温と手の消毒、また座席の消毒や乗客数を定員の2分の1にする等、感染拡大防止対策を徹底して運行することとしている。

なお、運行に伴う経費については、舟川桜並木周辺活性化事業の総事業費2070万3千円のうち763万6千円の予算を見込んでいる。

出店ブースについては、今年度は舟川新地内の町駐車場に設置し、現在、商工会を通して出店者を募集しているところであり、土曜・日曜は、来訪者が密にならないよう広くスペースを取ることとしている。町内の各店舗の方々には、にぎわい創出の一環として、また

朝日町における経済活性化のためにも、出店を検討していただきたいと考えている。

再質問 かがり火の夜桜やライトアップは、宿泊客の皆さんを前提にしたイベントだと思っているが、今年は期間中の宿泊の予約はあるのか。

再答 商工観光課長 かがり火等については、以前は宿泊客の予約があったが、現在、小川温泉が休んでいるということで、多分予約はないと思っている。

再質問 舟川桜並木周辺活性化事業の予算は昨年度は641万3千円、今年度は2070万3千円と約3倍の予算規模に膨れ上がっているが、どのような経済効果があるか。

再答 商工観光課長 当然、経済効果については、来訪者の皆さんの市街地の商店への誘導を、商工会とも計画を立てながら現在進めている段階である。

まちバスの直近の利用実績は

答 コロナ禍や泊高校の統合の影響により減少している

質問 あさひまちバスは、平成24年12月に運行を開始以来、地域住民の要望を取り入れ利便性を図りながら、町内の移動に活用されているが、その直近の利用実績はどのようなものか。また、住民同士の助け合いによる新しい公共交通「ノッカルあさひまち」の無償実証実験時と有償実証実験時の利用者数、登録ドライバー数はどのようなものか。

答 企画振興課長 近年のあさひまちバスの利用状況は、令和元年度2万7767人で、平成30年度と比較すると5277人の減、また令和2年度2月までは1万7860人で、令和元年度の2月までと比較すると8084人の減となっている。利用者数の減少については、全国的に長引くコロナ禍の影響が顕著であること、



「春の四重奏」会場を発着するシャトルバス

泊高校の統合により高校生の通学利用が段階的に減少していることなどが大きな要因であると分析している。

また、ノッカルあさひまちの状況については、令和2年8月から12月までの5カ月間の無償実証実験では、200件、234人の利用があり、8名のドライバーにご協力をいただいた。さらに、令和3年1月からは、有償での運行を行っており、1月には17件、17人、2月には45件、57人の利用があり、登録ドライバーについては、8名増えて16名体制で運営している。朝日町としては、この仕組みを充実させることにより、現在あさひまちバスを運休としている土曜・日曜における外出機会の創出や、道幅が狭い等の理由からバスの走行が困難である町内への公共交通サービスの提供などが可能になるものと考えている。

総合計画で目標未達の施策は今後どのように取り組むのか
答 目標未達成の施策は見直すべきところは柔軟に変えていく

質問 令和3年度から、第5次朝日町総合計画の後半5年間の後期基本計画がスタートする。この

朝日町総合計画における主要施策の成果指標は163項目に及ぶが、令和元年度末で成果指標の最終目標を達成した施策、未達の施策について、後期基本計画での取り組み及び成果数値はどのようにされるのか。

答 企画振興課長 本年1月26日に開催した朝日町総合計画・総合戦略検証委員会において、163ある施策項目における令和元年度の成果数値を、令和7年度末の最終目標値や令和2年度末の中間目標値等と比較し、その達成具合の評価、検証をいただいた。施策項目の中には、既に最終目標値に達したのもあれば、中間目標値である令和2年度での達成が難しいものもある。目標値を達成した施策については、さらなる高い目標設定により事業の拡充を図っていくこととしている。また、未達成の施策項目については、検証委員会の意見も踏まえ、効果が低かった要因はどこにあるのか、目標値を含めた設定内容にそもそも原因があったのではなかなかなど、その検証から見直すべきところは柔軟に変えていくこととしている。

本文に掲載した記事以外の質問

◆ **清水 真人 議員**

- 令和3年度予算について
- 東京2020オリンピック・パラリンピック聖火リレーについて

- 第5次総合計画・後期基本計画について
- コミュニティ活動の活性化は

- 感染予防対策について
- 新型コロナウイルスワクチン接種事業について

- 住民要望について
- 道路除雪について

- 寺西 泉 議員
- 令和3年度予算について

- 中学校学習者用デジタル教科書導入について
- ICT教育の推進について

- 朝日町型部活動コミュニティクラブについて
- 保健・介護一体的事業について

- 認知症高齢者等見守りシール交付事業について
- 新型コロナウイルスワクチンについて

- 朝日町における接種スケジュールについて
- ワクチンの効果や副反応の情報提供について

- 再生可能エネルギーについて
- 小水力発電の計画について

- 風力発電所の開発可能性調査について
- ◆ **加藤 好進 議員**

- 新年度事業について
- 地域おこし協力隊退任後応援事業について

- 町政運営について
- 公共下水道事業について

- 行政組織統合再編について
- あさひ総合病院の運営について

- 経営状況と今後の健全経営について
- 朝日町消防団について

- 火災発生時の危機管理について
- ◆ **大久保光太 議員**

- 空き家対策について
- 特定空家等除却代執行について

- 地域おこし協力隊について
- 第5次朝日町総合計画について

- 前期の検証と後期の指標について
- ◆ **大井 光男 議員**

- 地域おこし協力隊について
- 第5次朝日町総合計画について

- 前期の検証と後期の指標について
- ◆ **道用 昭雄 議員**

- コロナ禍・豪雪に対する町の危機管理について
- 朝日町新型コロナウイルス感染症対策本部の会議内容が何故町民に知らされないのか

- 豪雪時の町なかの除雪や災害時に住民が集まるサンリーナ及びその周辺の除雪はどこがどのように管理するのか
- ◆ **水野 仁士 議員**

◆ **石原 孝之 議員**

- 安全・安心なまちづくりについて
- 町内の除雪体制について
- ニホンザルによる被害対策と追い払いの取組みについて
- ◆ **荒尾 勇一 議員**

- コロナ禍での経済的支援について
- 病院や診療所の減収補填について
- 町内業者への支援について
- 企業誘致の現状について

- ポエック株式会社との契約について
- ポエック株式会社との交渉について
- 小・中学校の給食費について
- 義務教育の無償と学校給食費について

泊駅南土地区画整理事業の 令和3年度の工事計画は

答 区画道路は保留地周辺で工事を、
都市計画道路は令和2年度と同じ
範囲で盛土を行う



太 光 久保 大

質問 泊駅南土地区画整理事業の今年度の計画に対する区画道路及び都市計画道路の進捗状況と、令和3年度の工事計画と事業全体の計画はどのようになっているか。

答弁 建設課長 今年度の区画

道路の工事については2月末時点で75%の進捗状況であり、都市計画道路については工事予定箇所が3月5日に完成したと伺っている。令和3年度については、区画道路は地区西側に決定した保留地周辺を重点整備箇所として工事を行う計画で、都市計画道路は今年度と同様の工事範囲内にて盛土工事を施行する計画と伺っている。

今後の事業計画については、事業完了に向け保留地処分を行うため、地区西側の造成工事に着手する計画とされている。

また、令和5年度末に完了予定の事業期間の延長を視野に、各年度の事業費の精査も含めて令和3年度中の事業計画の変更に取り組みたいと伺っている。

町からは区画道路整備などに係る補助金を交付していることから、今後の町の財政状況等を踏まえた計画変更となるよう、組合とともに協議・検討をしていきたいと考えている。

森林管理の計画の進捗状況は

答 大平エリアで意向調査、計画策定に
続き、令和3年度に初の間伐を行う

質問

森林環境譲与税を積み立てているが、森林管理の計画の進捗状況と、考えている将来的な施策はどのようなものか。

答弁 農林水産課長

朝日町で

は森林環境譲与税を積み立て、森林の管理が困難と考えている土地所有者の森林を経営の意欲や能力のある林業経営者につなぐことで林業経営の集積・集約化を図るための財源としている。

具体的には、1年目に山林所有者へ森林経営の意向を調査、2年目に意向に応じて計画を策定、3年目に間伐といった流れで森林整備事業を行うこととなる。

これまでの進捗状況については、令和元年度に大平エリアで意向調査を実施、令和2年度に大平エリアでの計画策定及び横尾エリアでの意向調査を実施、令和3年度に大平エリアで間伐を実施するほか、横尾エリアでの計画策定、南保エリアでの意向調査を予定している。

基金の将来的な活用方法については、当面はこの森林整備事業を継続したいが、基金残高や将来的な譲与額を勘案しつつ譲与税の使い道に定められた担い手育成や木材利用などについても検討してまいりたい。

大雪で被害を受けた農業用ハウスの復旧支援は

答 国・県の補助に上乘せし、
町も補助を行う

質問

大雪による町内の農業用ハウスの被害状況はどうか。

また、被害を受けた生産者や団体に対して国や県と連携してどのような復旧支援に取り組むのか。

答弁 農林水産課長

農業用ハ

ウスは現段階で23の経営体、56棟の全壊や半壊などの倒壊、またビニールが破れるなどの被害が確認されており、約7割は育苗用として使用されていたものである。

農業用ハウスの復旧支援については、被災した農業者が早期に経営を再開できるよう、国は再建費用の3割、県は再建費用から共済金や国の補助金を引いた額の3割を補助するが、町はその助成に上乘せし、再建費用から共済金や国の補助金を引いた額の2割を補助することとしている。

対象者を国では人・農地プランに掲載されている担い手としているが、町は県と同様、担い手に加えて、担い手以外の農家の方も対象とするものである。

対象経費は、農業用ハウス等の再建に要する経費、1経営体当たり50万円以上の事業で、撤去費についても、再建を行う場合には含めることができるものである。

平成29年に町長が大雪山で登山をした際、利害関係者がいたのではないかと



大井 光 男

答 誤解を招くようなことは近年は避けている
それ以上は町民の判断だと思っ

質問 平成29年7月15日(土)に北海道東川町に表敬訪問されているが、公務なのか私用なのか。

答 町長 表敬訪問したのは公務だと思っ

再質問 公務であるならば、旅費はどのようにしているのか。

再答 町長 総務政策課長 奥さんとの旅行もあったので、個人の負担で行っている。東川町には何人も職員が研修等に行っていたので、それのお礼を兼ねて、ついで行ったため、新聞にはそのため

再質問 ここから重要なのだが、その後大雪山に一泊で登山をしておられる。私用であれば全く関係ないが、そこへ行く人が利害関係者であるならば、これはいかなるものかと思っ

ように思っ

再答 町長 東川町には研修受け入れや災害協定を結ばせていただいているため、表敬訪問は当然だと思っ

再質問 登山に実費で行ったというの

再答 町長 そこへ行ったのは3組の家族で、何十年

再質問 登山に利害関係者がおられたのか、おられなかったのか。

再答 町長 そこへ行ったのは3組の家族で、何十年

しかし、そのような誤解を招くようなこと

いは懇親して

町長車に一般人を乗せることはないのか

答 一般人の捉え方が難しいが乗せないのが

質問 町長は専属公用車に一般人を同乗させた

答 総務政策課長 公務に

再質問 総会に行

再答 町長 一般人の捉え方が難しいのだが、

再質問 サンリーナ体育館の雨漏りの修繕は

答 早期に取り組みたいと思っ

質問 災害時の広域避難場所

数年前から雨漏りしている箇所があり、今年の大

たらない。優先すべき仕事と思っ

答 企画振興課長 1月、2月の大雪でサンリーナ第1体育館

再質問 災害はいつ起こるか

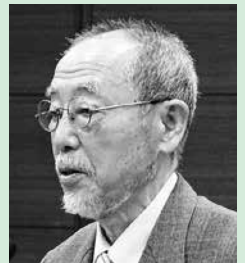
再答 町長 サンリーナの雨漏り等は早期に取り組ませて

再質問 一方で今やらなくてもいい工事もある。ポエック社

再答 町長 工場建設等々において当初より大きく

断した。

小・中学校でオンライン授業が行われたが、どうだったか



道用 昭雄

答 スムーズに授業を行え、児童・生徒も意欲的に学習に取り組んでいた

質問 2月に大雪で町内の小・中学校が休校となる中、オンライン授業が行われていたが、児童・生徒の様子はどのようなもので、機械の不具合は何件ほどあったのか。

また、自宅が遠く通勤に時間がかかる先生方は、オンライン授業にどのように対応されたのか。

オンライン授業は今後どのように展開していくのか。また、オンライン授業の問題点はあるか。

答弁 教育委員会事務局長 2

月18日には、大雪により町内の全ての小・中学校を臨時休校とし、県内で初めて災害対応によるオンライン授業を実施した。

子どもたちは前日にタブレット端末を持ち帰り、自宅と学校をつなぎ、先生が出題する問題を解い

たり、添削を受けるなど、自宅にいながら授業を受けたが、子どもたちに大きな混乱もなく、教員もスムーズに授業が行えたと報告をもらっている。

また、通信環境の整っていない家庭にはモバイルWi-Fiルーターを貸し出して、全員が参加できるように配慮した。

授業を行った教員に聞くと、オンライン授業は児童・生徒の興味・関心を高め、意欲的に学習に取り組むことができると評価していた。

不具合は、中学校で5件、小学校で3件あり、その内容はインターネット等の接続不良や停電などがあつた以外は大部分が操作ミスで、不具合もすぐ復旧でき、問題なくオンライン授業ができた

報告を受けている。

また、機器や通信のトラブルの対応には専門的な知識を必要とするため、新年度にICT支援員を増員し、教員の負担軽減に努めたいと考えている。

大雪で道路事情からやむを得ず時間通りの出勤ができない教員の授業については、ほかの教員で対応したり、自宅からオンライン授業を行ったりしたため、トラブルは見られなかった。

今後のICT教育の展開として、タブレット端末は、来年度から週末と長期休業中に児童・生徒が自宅に持ち帰ることで、家庭学習の充実、保護者への連絡手段、臨時休業の際の子どもたちの健康状態の把握・学習支援に使えることから、子どもたちにとってより身近で便利なツールとして活用していきたいと考えている。

ただし、つないではならないところへのアクセスなどのセキュリティ対策、タブレット端末の破損への対応、視力の低下を危惧しているため、保護者への理解と協力を求めるということ、近く、改めてタブレット端末の使用に関する指針を紙面にてお渡ししたいと考えている。

特定空家等を解体するのに町はどれくらい支出しなければならないか

答 解体費の5分の3を町が支出するが、執行後に管理者に請求する

質問 現在の朝日町の戸数、空き家の数、特定空家等の戸数はいくつか。

また、特定空家等を代執行により解体するに当たり、国の補助はどれくらいあり、町はどれくらい支出しなければならないのか。

答弁 住民・子ども課長 朝日町における住宅やアパートの戸数は、固定資産税の課税資料によれば7481棟、空き家は実態調査の結果から592戸で、そのうち特定空家等と認定された戸数は現在10戸である。

特定空家等の除却などの代執行は、富山県内では平成27年の空家等対策の推進に関する特別措置法が施行されて以来14件あるが、朝日町では行われたことはない。

今回の行政代執行では解体費の5分の2を国が支出し、町は5分の3を支出することとなるが、この解体費については執行後に管理者に請求し、国税徴収法などに基き回収に努めてまいりたい。

町として森林地権者への皆伐補助金の交付の検討を



水野 仁士

答 県の支援事業の活用を まず検討してみたい

質問 朝日町では戦後の拡大造林により植栽された森林の多くが60年以上たち、適正伐採期を過ぎています。木材としての値打ちが下がっている。

森林も少子高齢化になってしまい、従来の間伐による伐採では年齢編成の偏りは解消されないし、今後、良質な木材の持続的な安定供給は困難である。

対策として、無花粉スギ「立山 森の輝き」の植林、そのための優良造林地での収益性のある皆伐と循環型森林整備体制の確立が必要である。国も森林対策として新しく森林環境譲与税の交付も行っている。

町として皆伐の奨励と、皆伐補助金を地権者にも交付することを検討していただきたいが、どうか。

答弁 農林水産課長

朝日町も

含め、県内の市町村で皆伐、いわゆる周辺樹木を全て伐採することに対する補助は行われていない。町としては、皆伐は営利目的につながることもあり、支援を行うことは现阶段では難しいと考えている。

しかし、富山県の単独森林整備事業の中に、高齢級人工林機能強化事業という、急傾斜地や水源地の上流において、森林の保全などを目的として一定の樹齢以上である老木を伐採し、搬出する事業に対する支援がある。このような事業は幾つかの要件があるものの、皆伐に対する支援も含まれることから、この事業が活用できないか検討してみたいと考えている。

再質問

森林環境譲与税の関係

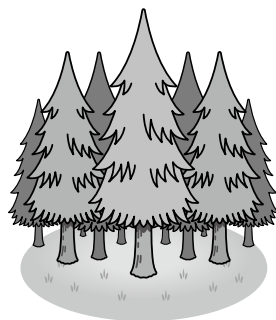
で意向調査をされているが、そこに合わせて皆伐事業の説明などを入れていただければと思うが、どうか。

再答弁 農林水産課長

全部が

全部老木かどうかというのはなかなか判断しづらいため、場所を限定したり、あるいは一定の要件を設けて検討するというふうを考えていきたいと思っています。

ただ、県の支援事業があるため、そこをまず第一に活用しながら進めていけないかと考えている。



ふるさと寄附金の歳入見込額の倍額の要因は

答 インターネットポータルサイトの数を増やしてきたことなどが要因

質問

ふるさと寄附金は、当町においても平成20年から受付が開始されており、新年度予算においては、昨年度と比較して2倍に当たる1億円の歳入を見込まれている。倍額になった要因はどのようなものか。また、今後より一層の寄附金の増額を図るため、どのような方策を検討されているのか。

答弁 商工観光課長

新年度予算において、ふるさと寄附金を

1億円に増額して見込んだ要因については、返礼品として、朝日町産の米やカニ、カキ、薫製などの海産物、さらにはお酒やお茶といった特産品等が依然として大きな人気があるほか、インターネットポータルサイトの数を年々増やしてきたことが寄附額の増加につながったものと考えている。

また、新年度においても、これまでにも増して寄附金の増額を図るため、令和3年4月より、全日本空商事株式会社におけるふるさと納税ポータルサイトの追加を予定しており、これまでと合わせ、合計6社のインターネットサイトを活用しながら、より多くの皆さんに朝日町の魅力を発信するための準備を進めているところである。

さらには、返礼品のラインナップの見直しや新規返礼品の追加、新規事業者の開拓のためのPRなど、内容の充実を図りながら、地域の活性化に向け、創意と工夫を凝らした取組みを進めてまいりたいと考えている。

デジタル防災行政無線の運用開始により何が変わるか



石原孝之

答 九つの情報伝達手段を活用し、情報が迅速かつ確実に行き渡る仕組みを構築

質問 4月からデジタル防災行政無線の運用が開始されるが、アナログ式の場合と何が変わり、今後どのような運用になるのか。

また、安全・安心、暮らしを守る観点から、防犯情報等をお伝えすることもできるのではないか。

答 総務政策課長 デジタル

防災行政無線は、町の緊急情報や気象情報等を伝達する際にそれぞれの情報伝達手段で個別に発信しなくても1つの作業で同時に発信できることから、防災行政無線の屋外スピーカー、防災ラジオ、町ホームページ、朝日町緊急情報メール、緊急速報メール、町フェイスブック、みらいTVに加え、今回新たに朝日町防災情報アプリ、自動応答装置といった九つの情報伝達手段を活用し、町民の

皆様に迅速かつ確実に情報が行き渡るような仕組みを構築した。

新たに取り入れる朝日町防災情報アプリでは、町の防災等に関する最新情報をスマートフォンでも入手でき、防災行政無線で発する内容が文字でアプリに入っている、情報内容を自動読み上げ機能により音声で聞ける、緊急時には最大音量で内容通知が入るなどの機能を持ち合わせている。

防災行政無線の運用については、①地震、火災、台風等の非常事態に関する事。②人命、その他特に緊急重要な事故に関する事。③町行政の普及及び周知連絡に関する事。④その他公共的機能に関する事。⑤その他公共的機能に関する事。⑥その他公共的機能に関する事。⑦その他公共的機能に関する事。⑧その他公共的機能に関する事。⑨その他公共的機能に関する事。⑩その他公共的機能に関する事。

の12時、18時、21時の定時放送に加え、緊急情報や安全・安心に係る情報を迅速かつ的確に適宜配信してまいります。

また、防災行政無線での防犯情報等の放送については、その情報等が放送事項の4つの基準に適合する内容であれば放送できるものと考えているが、現状の運用状況を踏まえ、緊急度、必要性を十分検討した上で検討してまいります。

泊駅南公園の今後の整備計画はどのようなものになっているのか

答 令和4年3月末を目標に整備構想を取りまとめたい

質問 泊駅南土地区画整理事業

区域内の公園について、今後の検討委員会の予定と公園整備計画はどのようなものになっているのか。

答 建設課長 町内で小児科

病院を開業されていた松倉氏から、朝日町の子どもたちが安心して遊べる公園整備に役立ててほしいと寄付金をいただいております。泊駅南土地区画整理事業区域内において子どもたちのための公園整備を計画しているところである。

第1回泊駅南公園整備検討委員会でいただいた意見を踏まえ、町内の保育園並びに小学校に通う子ども全員と保護者を対象としたア

ンケート調査を実施し、その結果から新しい公園に必要な施設として多くの子どもたちが楽しめる遊具施設の導入や多目的に利用できる芝生広場等の導入などを盛り込み、公園計画地の規模をおおよそ1万平方メートルから1万5千平方メートルとした新しい公園の整備方針案を第2回の検討委員会で示したところである。

委員からは、近隣市町村の公園にある施設とかぶらない、朝日町の特徴ある施設を考えてほしいという意見や、全ての子どもが障害の有無に影響されることなく一緒に遊べるユニバーサルデザインの考え方を導入し、子育て世代から高齢者、障害者の方まで幅広い利用者層を包み込むインクルーシブ公園も検討してはどうかなどのご意見をいただいたところである。

今後は第3回の開催を7月頃に予定し、朝日町の歴史公園や入善町の運動公園など現地視察を通して、公園整備の規模1万5千平方メートルがどれくらい広がりを実際に感じていただきたいと考えている。

今後は各委員からご意見をいただきながら、令和4年3月末を目標に公園の整備構想を取りまとめたいと考えている。

コロナ禍にあり町民の就労状況を調査し必要な支援策を立てなければならぬのではないかと

答 富山労働局やハローワーク、町商工会
 ともしっかりと情報を共有してまいりたい



二 勇 尾 荒

質問

コロナ禍で、全国的に行動の自粛が求められ、飲食店等は大きな打撃を受けて失業者が増加しており、職業安定所が把握できるだけでも、解雇や雇止めで完全失業者が9万人になると報道されている。とりわけ、非正規労働者に失業者や解雇通告を受けている人が多く、失業者の中からは生活困窮のため自殺者も出ている。

町民の就労状況を調査し、必要な支援策を立てなければならないのではないかと。また、30代から50代の非正規労働者の雇用の安定や就労支援を強化しなければならないのではないかと。

答 井 商工観光課長

富山県内

においても新型コロナウイルスの影響による解雇、雇止めが昨年3月から千人を超えたと報道され

た。なお、記者発表を行った富山労働局では地域別、市町村別の数字や状況は公表されておらず、また、町や商工会には、町内の雇用情勢について目立った情報は入ってきていない。首都圏においては、特に飲食業、サービス業での失業者が増加しているとのこと

で、厚生労働省では、雇用調整助成金、新型コロナウイルス感染症対応休業支援金など様々な支援策を展開している。

雇用の安定も課題の一つと考えられており、富山労働局やハローワーク、町商工会ともしっかりと情報を共有してまいりたい。

再質問

私は労働相談を一つ

受けた。ある非正規労働者が会社側から仕事の怠慢などを理由に、正規社員としては採用できないと

して、会社側から解雇するとはいわないで、自己都合離職へと追い詰められていくというものだ。こうした人たちへの労働相談の窓口を増やすなどの支援を強めないと、多くの人が自己都合離職ということになる。

また、日本では家族の世話や家事労働はまだ女性の仕事と考えられているため正規の仕事に就いていない女性が多く、そして女性は飲食業で働く方が多いため、コロナ禍で仕事を失う女性が増え、特にひとり親家庭では家計に大きな困難を抱えている。

そのような方、特にひとり親家庭に対する支援が、町の新年度予算に見られないが、どのように考えているか。

再答 井 町長

ひとり親への支

援は県が行っているが、町でも令和2年度の小学校の給食費無償化を決める際には、ひとり親家庭への支援をしなければならないというところも判断材料になった。今後、国の第3次臨時交付金等を活用しながら、どこにどう手厚い、どこに視点を置いた施策をするか議論していかねばならないと思っており、ひとり親家庭に関してはスポットを当てている。

答 経済・社会情勢等を見極めて判断してまいりたい

質問

コロナ禍でなくとも雇用の不安定化や低賃金による困窮世帯が増えている。小学校の給食費について、家計の負担を軽減し、食への理解を深めるために、再来年度以降も無償にし、義務教育の無償化を実現するべきではないか。

答 井 教育委員会事務局局長

小

学校の給食費無償化については、新型コロナウイルス感染症の終息が見えないことから、経済的負担の軽減を図るため、令和3年度も継続して実施する。

しかし一方で無償化の課題として継続的な予算の確保、食育への関心の低下、無償が当然とする意識の高まりが懸念されることが挙げられている。

また、朝日町の給食費無償化にかかる令和3年度の予算が小学校で2106万5千円、中学校で1419万円となっている。

これらのことから、令和4年度以降の給食費無償化については、その時点での経済・社会情勢等を見極めて判断してまいりたい。

常任委員長報告・議会活動報告

常任委員長報告

総務産業委員会

当委員会は、3月12日、午前9時から開催し、議会から付託されました12案件について、慎重審査いたしました結果、付託されております全案件は、それぞれ原案のとおり可決・承認すべきものと決しました。

なお、審査の過程において、次の要望、意見がありました。

○新型コロナウイルス感染症対策については、第3次地方創生臨時交付金などを有効に活用し、飲食・観光業をはじめ関連産業を支援するなど、1日も早い町の経済活動の回復に向けて、鋭意努力されたい。



民生教育委員会

当委員会は、3月11日、午前9時から開催し、議会から付託されました14案件について、慎重審査いたしました結果、付託されております全案件は、それぞれ原案のとおり可決すべきものと決しました。

なお、審査の過程において、次の要望、意見がありました。

○長期化するコロナ禍において、町民の生活が困窮することのないよう、引き続き支援を進めるとともに、さらなる充実に努められたい。



現地視察

朝日町議会では、3月16日に水の国電力株式会社相ノ又谷にて建設を進めている小水力発電所を視察いたしました。説明していただいた概要によると、その発電量は960kWとのことでありました。

なお、竣工日は5月25日予定となっています。



議会日誌

一月

- 15日 新たな広域連携促進事業勉強会（ありそドーム）
- 21日 議会だより編集委員会
- 22日 全員協議会・議員協議会

二月

- 5日 議会運営委員会
全員協議会・議員協議会
- 19日 議員協議会
町村議会議長協議会
町村議会議長会定期総会・表彰伝達式・町村議会議員・事務局職員研修会（富山市）
- 25日 議会運営委員会

三月

- 2日 3月議会定例会本会議（提案理由説明・細部説明）
全員協議会
- 3日 全員協議会・本会議（質疑）
- 4日 議会運営委員会
- 9日 本会議（代表・一般質問）
- 10日 本会議（一般質問）
- 11日 民生教育常任委員会

- 12日 総務産業常任委員会
- 16日 議会運営委員会

- 25日 富山県町村会創立百周年記念式典・記念講演（富山市）
- 本会議（委員長報告・討論・採決）
- 全員協議会

議長交際費を公開します

項目	R 3.1.1～3.31		R 2年度累計	
	件数	支出金額(円)	件数	支出金額(円)
祝儀・寸志	0	0	2	20,000
香典・生花・見舞	0	0	1	10,000
土産・贈答	0	0	0	0
負担金・会費	1	10,000	3	25,000
懇談会	0	0	0	0
餞別・激励・協賛金	0	0	3	15,000
その他	0	0	0	0
合計	1	10,000	9	70,000

議会報告会を開催いたします

朝日町議会では、全議員が直接町民の皆さまに対し、議会定例会での審議内容等をお伝える場として、今年も議会報告会を以下のとおり開催いたします。

事前の申し込みは不要ですので、どうぞお気軽にお越しください。

- 日 時：5月22日(土) 午後2時～（1時間程度を目途に）
- 場 所：役場4階大ホール
- 内 容：委員会報告・質疑応答

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、当日は必ずマスクをご着用ください。また、当日に熱がある方、体調が悪い方は来場をお控えください。

編集後記



3月の予算議会でも一般会計72億6341万円の予算を可決しました。この上は一日も早く予算が執行されることを願うものです。

さて、この頃朝日町は新聞紙上を賑わしています。

一つ目は北日本新聞の社説に「地域の交通網を守る先進事例として『ノックカルあさひまち』を取り上げていただいたこと、二つ目は新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の模擬訓練『朝日町で集団接種訓練』の掲載で、それにより問診票チェックに時間がかかったことの課題も出たことなど、三つ目は北陸中日新聞の『春の四重奏』教科書に『朝日町舟川べりから見る残雪の北アルプスと桜並木、チューリップ、菜の花が奏でる四重奏が中学1年生の科学の教科書（学校図書）に採用され、全国4万9千人の生徒が使うことになったこと』であります。町の施策を後押ししてくれると共に宣伝にもなり嬉しい限りで、町のPR効果に期待を寄せます。（水野）

◇議会だより編集委員

- 大久保光太 水野 仁士
- 西岡 良則 荒尾 勇二
- 石原 孝之